

全国集会～600人デモだけでは終わらない 29日の再稼働まで、現地・現場でねばろう



毎日 14:30～ゲート前で
抗議行動やっています。
26日の参加者は15名。
あなたも参加しませんか？

▲太鼓を叩きながら、雪の高浜の住宅地をめぐりデモ、ビラまき

1月24日の全国集会—デモは成功裏に終わりました。その後、現地ではゲート前での抗議行動、そしてビラをまきながら高浜の地域をくまなく巡る「デモ」が行われています。

●再稼働を止めるのは、1人ひとりの参加から
「デモ」は大人数でなければ・・・、というわけではありません。

18世紀のパリの話——。1人の労働者が旗を担いで都市の城門をくぐると、どんどんデモ参加者が増え、悪い金持ちの邸宅を取り囲んだといいます。労働者を酷使する工場は、打ちこわしに見舞われました。

1人ひとりが高浜原発ゲート前に集まり、声を上げることからすべてが始まります。あなた

が「16人目」になってみましょう。

●毎日のゲート前抗議行動にも立ち上がろう

再稼働を阻止するか否かの勝負は、どこで決まるのでしょうか？ 批判をものともせず再稼働する、という関西電力の「意志」をくじくことです。

くじくためには、私たちの「止める」という強い意志を、「形」に具現化することが必要です。抗議行動は再稼働日まで途切れません。

高浜原発からは毎夜、大きなスピーカーで作業を指示する声流れます。展望所まではっきり聞こえます。関西電力は必死です。私たちも29日まで、自分の体を原発の前にさらし、阻止の「意志」を「力」で表していきましょう。